

安倍敏陽さん 大学院機械工学専攻修士 1977 年修了



◆ 経 歴

1975 年 3 月	機械工学科 卒業
1977 年 3 月	大学院機械工学専攻 修了
1977 年 4 月	トーヨカネツ㈱に入社し、タンク事業部設計部に配属
1978 年 ～	液化天然ガス(略して LNG)貯槽の断熱システム研究に従事
1984 年 ～	クリーンルーム用搬送機器の開発に従事
1986 年 ～	大規模仕分けセンターの設計助手として従事
1989 年 ～	搬送機器の標準化に従事
1991 年 ～	海外向け LNG 貯槽の設計助手として従事
1993 年 ～	グループ子会社に出向し、産業廃棄物用焼却装置の営業、設計、製造、工事に従事
2003 年 ～	トーヨカネツ㈱に戻り、貯槽の積算に従事
2012 年 12 月	満 60 歳でトーヨカネツ㈱退職
2014 年 3 月	㈱エム・エス・シーに入社し、(一財)精神医学研究所附属東京武蔵野病院での院内物品配達に従事
2017 年 1 2 月	満 65 歳で㈱エム・エス・シー退職

◆ 鐵 暦 (趣味歴)

1961 年 11 月	鉄道友の会に入会(入会条件は中学生以上だが、何故か小学生で入会できた)
1971 年 4 月	大学入学と共に鉄道研究部に入会し、大学院修了とともに退会。
1974 年 11 月	海外鉄道研究会発足とともに入会。
1987 年	公益財団法人日本ナショナルトラストによる鉄道文化財保存を知って、入会。
1989 年 11 月	武蔵工業大学鉄道研究部 OB 会発足とともに入会し、当初 4 年間事務局長を担う。
2021 年 9 月	日本鉄道保存協会に入会。

◆ 本人コメント

(1) 仕事について

トーヨカネツ㈱入社後、20 代は最先端技術に関わり、毎日が勉強でした。30 代は体力勝負のようで、力不足から現場に面倒を掛けることもありました。40 代は営業も兼ねて地方回りを行い担当者と話をすることは楽しかったです。50 代になって(本社に戻り)再び英語の世界となり、20 年間日本語ばかりの世界で仕事をしていましたから、仕様書を理解するのに苦しみ、夜 9 時、10 時までの残業が続きました。

60 歳定年で 1 年間休むつもりでしたが、失業保険の手続き上就職活動の必要があり、東京武蔵野病院関連の㈱エム・エス・シーに非正規社員で入社。私は 60 歳になるまで手術はおろか検査入院もなかったので病院に知り合いができるのもいいなと考え、武蔵野病院を調べましたら、精神科の病院であることがわかり、一瞬どうしようかと思いましたが、働くことにしました。

(2) ボランティアについて

団地自治会の防犯防災部長として、防災情報を住民に提供するように努め、自治会独自の「防災マニュアル」や「安否表示板」を住民に配布しました。また、危機管理アドバイザーの国崎信江さんや NPO 法人「ママプラグ」(現 M-plug)による講演会を開催すると共に東京都や板橋区の防災関係部署のご指導で、同じ学区の町会と合同で防災訓練を行いました。

自治会役員を退任して、管理組合理事になり、30 年以上たった団地の設備機器更新に取り組み、高齢の組合員に対する住民説明会、戸別相談会・訪問などで繰り返し丁寧に説明しました。無事に 446 戸全部の工事が終わりました時は疲れ果てましたが、(一社)マンション計画修繕施工協会の「マンションクリエイティブリフォーム賞」を受賞できうれしく思いました。

(3) 鉄道趣味について

物心がついた時から鉄道が好きでした。1950 年代前半、家にはテレビもマイカーもなく、歩いて 10 分程の所に国鉄の東海道本線があり、国鉄最重要路線で最新鋭車両が次々と走っていて虜になりました。さらに小学 3 年頃から雑誌「鉄道ファン」を読み始め、紹介される欧州や米国の車両にも強く惹かれました。小学 5 年の時に、鉄道友の会静岡支部が設立され、国鉄の静岡鉄道管理局のご協力、小田原近郊鴨宮の東海道新幹線試験線区で時速 200km の電車に乗車したり、在来線の蒸気機関車や特急電車の運転台に添乗するなど夢のような世界でした。

しかし結婚して子どもが生まれますと、鉄道雑誌を買う以外は封印し、団地自治会の活動もあって、鉄道趣味団体に年会費を払うだけという生活が約 30 年続きました。下の子の高校入学時から鉄道趣味活動を再開し、管理組合理事退任で鉄道趣味団体の月例会に参加できるようになりました。なお、海外出張はしていませんので、自費で海外の鉄道に乗車、撮影に行きました。

◆ 写 真



西ドイツ国鉄の特急列車；ライン河の船から(1978 年)



フランス国鉄の特急列車「ミストラル」；カンヌにて(1980 年)



グリーンルーム用搬送機器関係者の記念写真
(1984 年：本人：後列左から 4 人目)



大規模仕分けセンターの設計中(1986年)



EF58の体験運転；国鉄浜松機関区(1986年)



1989 年 6 月の武蔵工業大学創立 60 周年並びに
大学鉄道研究部創部 30 周年記念貸切列車の
集合写真；品川駅(1989 年)



カナダ大陸横断鉄道の展望車；家族旅行(2007 年)



鳥取県の若桜鉄道(旧国鉄若桜線)の「あべ駅」
全国でここだけ(2008 年)



動態保存電車の運転士さん
コペンハーゲン路面電車博物館(2013 年)



シェイ式蒸気機関車の前で
台湾「阿里山森林鐵路嘉義車庫園區」(2016年)



クワイ河鉄橋を渡る
「イースタン&オリエンタル・エクスプレス」(2017年)
「戦場にかかる橋」で有名になった



保存蒸機列車の競争
オーストラリアの「ハンター蒸機祭」で(2024年)